

法人理念	✿キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ✿保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ✿職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎日 9時30分～13時30分	送迎	無	給食	有
支援方針	テーマ「からだ」です。「空間の理解」 人形を用いたお世話ごっこ、水あそび、巧技台、音楽療法のあそびから、色々なからだの部位があることに気が付き、コントロールしながらあそぶことで、名称がわかり言葉にする機会を設けていく。						

項目	支援内容	
本人支援	健康・生活	身の周りを清潔に保つ パンツに着替える。排泄の間隔を担当がつかみ、そのタイミングに合わせて排泄に誘う。また排泄する場所を理解していく。 食後、自分で口拭きシートを使って、口が拭けるように援助する。 水分をしっかりと取りながら元気に過ごす コップを持って飲む
	運動・感覚	体操などを通して動作模倣を行う ・わらべうた、体操、音楽療法など動作模倣を促す。 感覚あそびを楽しむ ・ボディペインティング、寒天、粘土あそび、紙ちぎりなど手足指先を使い感触を楽しむ。 ・巧技台、トンネル、ゴムくぐり、パラシュート、タオルブランコなど粗大による感覚刺激を取り入れる
	認知・行動	顔、体の部位、名称がわかる 巧技台、わらべうた、絵本、お絵描き、粘土あそびなど通して、顔や体の部位を意識できるあそびをおこなう。 モデルとおなじように体を動かす ・担当が行う、サインやポーズ、リズム打ちの表現を、自ら真似て「いっしょ」や「できたね」の共感と達成感を感じる。またわらべ歌から「あたま」「おなか」「て」「あし」「目」「耳」「鼻」「口」「おしり」などの名称に触れる。
	言語 コミュニケーション	サインなども使い動詞を表現する 「行く」「食べる」「あそぶ」「ねる」「のむ」「おしまい」などサインで表現し見てわかる言葉を提示し、自らも表現できるようにする。 ごっこあそびをしながら応答的な会話を楽しむ。 ・お人形のお世話あそびから、ご飯を食べさせる、お風呂に入れて、頭や体を洗う、タオルでふく、着替える、寝かせる、おんぶする、お出かけするなどのごっこあそびを行うことで人形や担任、友だちとのやり取りを楽しむ
	人間関係 社会性	保育園児との交流を通して体を動かす ・保育園児と一緒に体操や触れ合いあそびを楽しむ。 自他の区別がつく 自分のマークを理解しロッカーや座る場所もわかり、休んでいる友だちに気がついて、思いをよせる気持ちも育む。
歌・絵本など		絵本 プールにいこう できるかな おててがでたよ うた あたまかたひざぼん 手をたたきましょう しあわせならてをたたこう わらべうた ももや おふね こっちのたんぼ おちよず 体操 がっちりガード ぼんたのおなか 音楽療法 げんきにげんきに おなかをぼん
地域支援・地域連携		子ロバ保育園の夏祭り参加（8月2日） 地藏盆（8月23日提灯提供）
家族支援		8月28日（木） 身体障がい児の集いのひろば（小児科・作業療法士・保育士対応）
職員の質の向上		○あそびとまなび保育・教育研究会 8/23(土)インクルーシブ保育「ともに遊び、ともに学ぶー実践より考える」 8/30(土)「環境によって保育がかわる2」 ○8/7(木)「安全マニュアル」
主な行事等		・8月2日（土） 夏まつり 8月29日（金）避難訓練（津波・洪水）